

報道関係各位

【取材のご案内】

学内での1日のビニール傘袋の廃棄量は1740枚・・・

学生企画による「U-Bag ビニール傘袋削減の取り組み」を開始

布製の「エコ傘袋」製作に向け、クラウドファンディングを立ち上げ

金城学院大学（名古屋市守山区）人間科学部 コミュニティ福祉学科は、「ソーシャルウーマンプロジェクトD」の授業の一環で、学生企画による「U-Bag ビニール傘袋削減の取り組み」を開始いたしました。12月14日（火）より、布製の「エコ傘袋」製作に向け、外部企業からの協力も頂き、クラウドファンディングを立ち上げています。



ビニール傘袋削減の取り組み



一般社団法人プラスチック循環利用協会によると、日本の廃プラスチックの総排出量は、“850万トン”と推定されます。また、2018年6月に発表されたUNEP（国連環境計画）の報告書『シングルユースプラスチック』によれば、日本の人口1人あたりのプラスチック容器包装の廃棄量は、米国に次いで2番目に多いことが分かっています。

その上でプロジェクトメンバーは、金城学院大学内でのビニール傘袋の廃棄量を調べたところ、コロナ禍でオンラインで行われていた授業も多い状況の中でも、1日で「1740枚」という結果となりました。

このような結果を受けて、プロジェクトでは「長く持ち続けられるマイ傘袋」の製作を企画することとなりました。傘袋の製作の前に、まずは既製品の傘袋にNFC（近距離無線通信）内蔵のネームタグを取り付けモニタリング調査を行い、製品化の際にどのような機能が必要か、また、学内で利用する上での課題点は何かなどを検証する予定です。企画には、株式会社MILKBOTTLESHAKERS様、株式会社ヤギ様、名古屋市港区の社会福祉法人みなと福祉会イルカ作業所様にもご協力いただいています。

つきましては、人間科学部 コミュニティ福祉学科「U-Bag ビニール傘袋削減の取り組み」プロジェクトメンバーへのご取材のご検討の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

企画の詳細につきましては、以下の実施概要内のURLをご覧ください。

<実施概要>

- ・企画名：「U-Bag ビニール傘袋削減の取り組み」
- ・期間：2021年12月14日(火)～2022年1月28日(金)
- ・企画者：金城学院大学 人間科学部 コミュニティ福祉学科 学生（3年生）
- ・協力：株式会社MILKBOTTLESHAKERS、株式会社ヤギ、社会福祉法人みなと福祉会 イルカ作業所
- ・URL：<https://camp-fire.jp/projects/514838/preview?token=1i0ew5ip>

<実施予定スケジュール>

- ・2021年 11月29日 : モニタリング調査開始
- ・2022年 1月21日 : モニタリング調査終了
- 1月28日 : クラウドファンディング終了
- 2月上旬 : モニタリング調査を踏まえ、製品化に向けて協議
- 3月上旬～ : リターンの発送
- 5月 : 製品化・学内販売
- 6月 : 梅雨の時期にマイ傘袋を持った学生がビニール傘袋を削減する度にポイントを貯め、そのポイントが社会貢献に役立てられる

■人間科学部 コミュニティ福祉学科「ソーシャルウーマンプロジェクト」について

金城学院大学 人間科学部 コミュニティ福祉学科では、福祉マインドを実践的に養う授業として、3年次に「ソーシャルウーマンプロジェクトD」を開講しています。授業では、社会貢献事業の事例研究を通して、社会貢献事業の企画・実施・評価に必要な知識、スキルを養い、学生自身が自ら関心のある社会問題や社会課題を解決するための事業計画（プラン）を作成し、自身で作成した事業計画（プラン）を外部機関等の協力を得ながら実践に移します。

ソーシャルウーマンプロジェクトの一例についてはこちら：

<https://www.kinjo-u.ac.jp/ja/about/promotion/ksg/>

学科詳細についてはこちら：

<http://www.kinjo-gakuin.net/depart/welfare/>

<取材に関するお問い合わせ先>

金城学院大学 広報代行 共同PR株式会社 担当：月村・中澤

TEL：070-4303-7376 / FAX：03-6260-6654 / MAIL: kinjo-pr@kyodo-pr.co.jp

